

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や検査結果を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや検査結果を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000 Atyp.C における尿路上皮癌検出の有用性に関する検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院検査部

【研究責任者】 金並真吾（愛媛大学医学部附属病院検査部 主任臨床検査技師）

【研究の目的】

過去に当院を受診された尿路上皮癌患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、シスメックス株式会社製の全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000 における核酸量の増大した尿中成分を定量的に測定する Atypical cells(Atyp.C)を用いた研究を行うことといたしました。この研究は尿路上皮癌における推定およびフォローアップに対する有用性の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）

2020年2月以降 2028年3月までに愛媛大学医学部附属病院泌尿器科を受診された方のうち尿沈渣検査を実施された患者さん

（検討内容）

尿路上皮癌診断の有無や尿路上皮癌診断後の経過と UF-5000 で測定された結果および臨床情報を比較する。

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、尿検査データ、画像検査データ、治療状況 等

【共同研究について】

この研究は、シスメックス株式会社と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、保存した電子ファイルを郵送することによってシスメックス株式会社に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院検査部 金並真吾

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院検査部 金並真吾
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5620